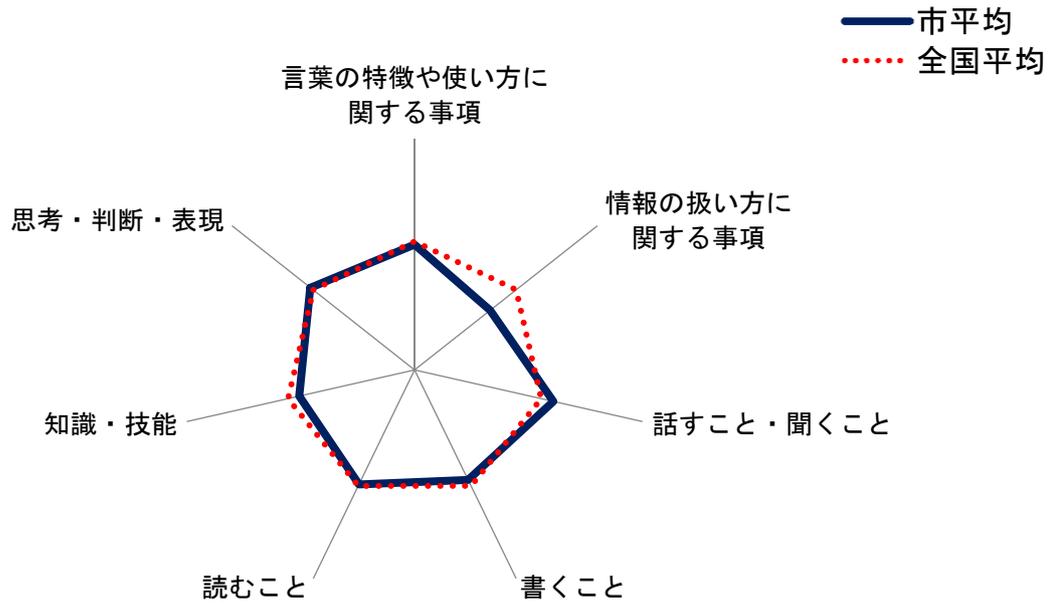
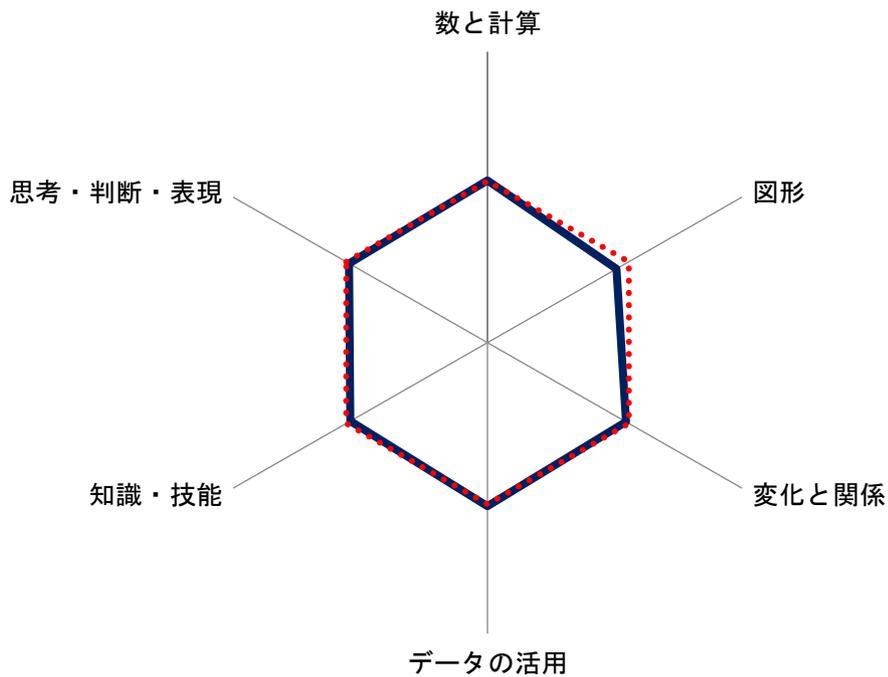


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

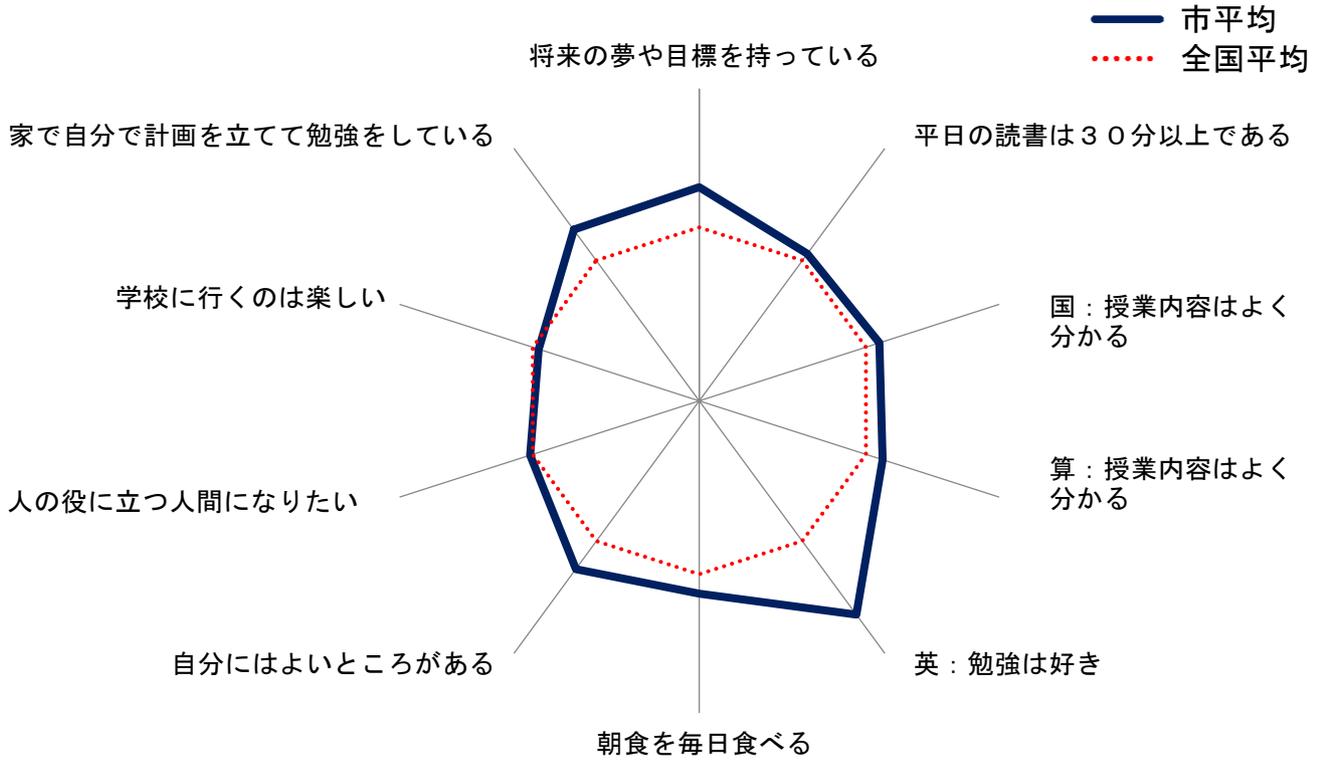
【国語】



【算数】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「話すこと・聞くこと」の項目が全国平均を上回っているが、「情報の扱い方に関する事項」の項目が全国平均を大きく下回っている。また、算数のほとんどの項目が全国平均とほぼ同じであるが、「図形」の項目が下回っており、基礎的な知識及び技能の定着に課題が見られる。今後は、これまで培われてきた愛媛教育のよさと適切なICTによる教育を効果的に組み合わせることで、より質の高い授業改善に取り組み、知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成が望まれる。

児童質問紙調査では、ほとんどの項目が全国平均を上回っている。前回調査において課題であった「授業内容はよく分かる」の項目が改善されており、特に「英語の勉強は好き」の項目が全国平均を大きく上回っている。今後も児童一人一人を大切に、主体的に学習に取り組む態度や自己肯定感を高める教育活動を、引き続き推進していくことが望まれる。